

KG-84A をシスコ シリアル インターフェイスに接続する方法

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[ケーブル](#)

[赤ケーブル](#)

[黒ケーブル](#)

[KG84A/Avanti の動作可能な構成](#)

[関連情報](#)

概要

この文書では、KG-84A ケーブルを、Codex LSI 24/24 や Avanti 2200 シリーズの同期モデムを使用して、Sun のシリアル ポートや、シスコのゲートウェイに接続するための設定情報について説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

この文書の情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- KG-84A ケーブル
- Avanti 2200 シリーズ同期モデム

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

ケーブル

このセクションでは、Codex モデムを使用して、KG-84A をシスコまたは Sun のシリアル ポートに接続するために必要なケーブルについて説明します。シスコのポートは同期接続で、Sun のポートは非同期接続です。

赤ケーブル

RS 232 側		KG 側 (赤色の J3 コネクタ) メス型	
ピン留め	名前		ピン番号
1	フレーム グラウンド		2
2	TD	--->	17
3	RD	<---	6
4	RTS	--->	11
5	CTS	<---	19
6	DSR	<---	51
7	シグナル グラウンド		1 + 9 + 18 + 46
8	DCD	<---	40
20	DTR	--->	38
次の 2 つは、同期ケーブルの場合に必要です (KG からシスコ)			
15	Tx Clk		15
17	Rx Clk		20

注 :

- KG-84A では、多数の信号に対して、差動入力を使用しています。KG コネクタでは、ピン 9、18、および 46 は、ピン 1 に結線する必要があります (上を参照)。ピン 9、18、および 46 は、ある信号の (使用されていない) 他方の側になります。また、KG 側ではピン 7、22、41、または 53 には接続しないでください。これらは、差動増幅器の出力であり、オープン サーキットのままにしておく必要があります。
- KG と Sun シリアル ポートとの間の非同期リンクの場合は、15-15 と 17-20 の接続を行わないでください。

黒ケーブル

RS 232 側		KG 側 (黒色の J2 コネクタ) メス型	
ピン留め	名前		ピン番号
1	フレーム グラウンド		2
2	TD	<-- -	15

3	RD	--- >	13
4	RTS	<-- -	29
5	CTS	--- >	27
6	DSR	--- >	51
7	シグナル グラウン ド		1+12+28+35+53+22+20+30+1 8
8	DCD	--- >	34
20	DTR	<-- -	17
同期処理のためのクロック :			
15	Tx Clk	--- >	21
17	Rx Clk	--- >	19
24	Ext TC	<-- -	32

KG84A/Avanti の動作可能な構成

このセクションでは、KG-84A と Avanti モデムを接続して同期リンクを形成する場合における、動作可能なケーブルと構成について要約して説明します。この構成とケーブルは、次の図に従って2つの Sun のシリアルポートを接続したときに動作することが実証されています。次に示すリンク情報は、同期回線用のものです。

Sun <==> KG-84A <==> Avanti モデム <==> Avanti モデム <==> KG-84A <==> Sun

RS-232C		赤色側、KG-84A
1		2
Tx	2	17
Rx	3	6
RTS	4	11
CTS	5	19
DSR	6	51
Gnd	7	1-9-18-46
DCD	8	40
TxC	15	15
RxC	17	20
DTR	20	38
RS-232C		赤色側、KG-84A
1		2

Tx	2	15
Rx	3	13
RTS	4	29
CTS	5	27
DSR	6	51
Gnd	7	1-12-20
DCD	8	34
RxC	17	19
DTR	20	17
	24	32

KG-84A の前面パネルの設定は、次のようになります (スイッチ設定を解読するには、KG84A のマニュアルか、装置の全面パネルの内側を参照してください)。

パラメータ	設定値
クロック	1 - 一方 2 で-反対側の...
データモード	2
データレート、Rx	B4 (適切な値に変更)
データレート、Rx	B4 (適切な値に変更)
パルスインターバルのステップ	1、+0
Intfc (インターフェイス)	1
同期モード	5
Ttyモード	1
データ長	Sync (適切な値に変更)
Commモード	1

Avanti モデムには、キャビネット内に一連のディップスイッチがあります。各オプションの詳細については、モデムのマニュアルを参照してください。いくつかのこれらのオプションは同期リンクの正しい動作のために必要です; 他は個々の必要に適するために変わるかもしれません。これらのスイッチは次のように設定します。

スイッチ	設定値
S5	HD の (ない RTS 設定)
S6	CC Int TC
S7	2 (KG と Sun の設定に速度を合わせる)
S8	電力レベル = -30 kb (スイッチ 6 は、別様に設定されるかもしれません) CTS 遅延 = 0 (4) スイッチ
S9	Med. 範囲 (これらの設定は他のアプリケーションのために異なるかもしれません) 下位 4W
イコライザジャンパ: クライアントの	

関連情報

- [テクニカルサポート - Cisco Systems](#)